

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人創成会
施設名	ウィズダムアリス園
報告者（役職）	川口礼子（園長）
住所・連絡先	〒263-0051 千葉県千葉市稲毛区園生町 656-2
	☎ 043-287-8093
	E-mail souseikai.alice@gmail.com

○タイトル（保育計画）

一人一人の子どもの心身の発達に応じた「あそび」を展開させる

○主な助成備品

ハイハイのみち、やさしいソフト滑り台、大型モノブロック、ネオ流し台ガスレンジ、スイートハウス、ちびっこスライダー、らくらくプール等

1. 保育計画策定の目的

当園は幼保連携型認定こども園の姉妹園として平成30年4月に開園しました。小規模保育事業園としては珍しい園庭整備もしており、施設整備での環境は恵まれております。ただ周囲が住宅地であるため、近隣の住民の皆様が乳幼児の声に慣れてないこともあり、泣き声が騒音とならないよう配慮が必要な地域です。乳幼児の心・身体的な発育環境を整えることが重要でしたが、室内の活動的な遊具が不足しておりましたので、支援をいただき、十分な運動能力、情緒を育てるための計画を策定・実施することとしました。

2. 具体的な実施内容

《ハイハイのみち》

0歳児がハイハイや伝い歩きが始まる中、ハイハイを沢山することによりしっかりしたバランスよい筋力がつくので伝い歩きの園児たちも楽しく遊びます。



《やさしいソフト滑り台》

1歳になると伝い歩きの中、冒険心も出てきて高いところに登ろうとします。最初は恐る恐る滑りますが、だんだん忘れられない快感があるようで何度も挑戦しています。順番がまだ待てるわけではないので、保育士が上手に中に入って順番を知らせていきます。



《大型モノブロック》

2歳児が実際にあるものを作っていくようになりますが組み立てていく様子を見て1歳児も長く組み合わせたり、実際にあるものではないが長く、長くなどつないで遊んでいます。一方、せっかく作ったものをバラバラにしてしまう園児もありますが、壊しては作り、壊されては作りと、根気よく取り組んでいます。



《ネオ流し台ガスレンジ》

ごっこ遊びができるようになる2歳児や誘われた1歳児の園児が楽しそうに役割を演じるようになりました。一時的な遊びになりがちなので、お店屋さんごっこなど保育士のアイデアも取り入れながら展開させてみています。



《スイートハウス、ちびっこスライダー》

外遊びができる晴れた日は砂場遊びと連携してスイートハウスでお店屋さんごっこや自宅に見立てお父さんやお母さんになり切った園児のリードで遊びが発展しています。室内でのままごと遊びを外遊びでも継続できるよう保育士も一緒に入って遊びに少しずつ違った役割を入れるよう働きかけています。また、1歳児がよく遊ぶちびっこスライダーは順番待ちを知らせていく良い課題です。



《らくらくプール》

プールでの子どもたちの声が騒音苦情にならないよう配慮が必要であったのと、オムツをしている子がたくさんいて感染症対策上一緒に入ることが思わしくなかったため、来年度に持ち越しました。

7月に近隣の方を一軒一軒回り、迷惑になることはなかったかなどの調査をしたり、あいさつ回りをしたことで園への理解をいただき、来年度以降外遊びをもっと積極的に取り入れることができると思いました。

3. その成果と評価

立地条件により室内遊びを強いられることが多かったのですが、玩具・遊具を支援していただき保育士も保育の目標を立てやすくなりました。園児も登園してすぐ、自分の遊びたいものを探し、遊び始める姿を見て、支援していただいたおかげと感謝しております。

4. 今後の課題と展望

子どもたちの創造的な感性を育てるにはどのような問いかけがいいのか、介入の仕方、タイミングをどうしたらよいか、などの園内研修を重ねていこうと計画をしています。開園時は少ない遊具で心細かったのですが、助成金をいただき、保育士も遊びの世界を広げることができ感謝しております。

今後も子供の成長に寄り添って楽しい保育をしてまいります。

ありがとうございました。

以上